



平成 22 年 5 月 17 日

各 位

株式会社ファルコ S D ホールディングス
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
代表取締役社長 平崎 健治郎
(コード番号：4671 東証・大証各第一部)
問い合わせ先
専務取締役戦略業務室長 安田 忠史
電話 (075) 257-8585

中期経営計画「plan2013」策定に関するお知らせ

当社グループは、この度、2013 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、中期経営計画「plan2010」において、「医療総合サービス企業を目指してーパーソナライズド・メディシーー」を中期経営ビジョンとし、連結売上高 600 億円を目標に活動しておりますが、2010 年 3 月には持株会社体制へ移行するとともに、2010 年 4 月には北陸地域を中心にドラッグ事業を展開する(株)示野薬局と経営統合し、当初の目標は今期において概ね達成できる見通しとなりました。今後、当社グループは、臨床検査事業・調剤薬局事業・ドラッグ事業を経営の 3 本柱と位置付け、各事業の成長促進とシナジー創出によるグループ全体の更なる企業価値向上に努めてまいります。

当社グループを取り巻く事業環境は、急速に少子高齢化が進展し、先行き不透明な経済状況が続く中、国民の健康に対する関心の高まり、生活に対する意識の変化、医療に対するニーズの多様化などにより、新たな展開を迎えております。

そこで当社グループは、中期経営計画「plan2013」において、「医療総合サービスの新展開ー個別化医療時代に向けてー」をグループ経営方針に掲げ、医療・予防・生活ビジネスの融合から新展開へ向けた取り組みを推進するとともに、基盤事業の収益力の強化と活性化を図ってまいります。

中期経営計画「plan2013」の概要は以下のとおりです。

<事業目標>

－2013年3月期（連結）－

- (1) 連結業績：売上高 700 億円、営業利益 30 億円、 当期純利益 15 億円の達成
- (2) 連結指数：営業利益率 4.3%、自己資本比率 40% の達成
- (3) 連結セグメント指数：
 - 臨床検査事業及び周辺事業；営業利益率 5.2%、IT ビジネス売上高 20 億円、
遺伝子ビジネスの収益化の達成
 - 調剤薬局事業；調剤薬局出店数 100 店舗の達成
 - ドラッグ事業；ドラッグストア出店数 70 店舗の達成

<経営方針>

「医療総合サービスの新展開－個別化医療時代に向けて－」

- ① 医療、予防、生活ビジネスの融合から新展開へ
臨床検査、調剤、ドラッグ各事業の強みを生かした当社グループ独自の新しいビジネス展開を目指してまいります。
- ② 基盤事業の競争力の強化と活性化
臨床検査、調剤、ドラッグ各事業の市場対応力強化に向けた取組みを実施いたします。
- ③ 臨床検査事業の複合サービス力向上
臨床検査、調剤、ドラッグ各事業のコラボレーション展開を推進いたします。
- ④ IT ビジネス・遺伝子ビジネスの早期事業化
IT ビジネスにおいては、販売力、開発力を強化することにより、事業化を目指してまいります。
遺伝子ビジネスにおいては、ヒト遺伝子検査の普及により、事業化を目指してまいります。
- ⑤ ドラッグ事業と調剤薬局事業の新店舗展開推進
門前型ドラッグ調剤店舗の展開を目指してまいります。
- ⑥ 人材から人財への成長戦略
臨床検査、調剤、ドラッグ各事業に柔軟に対応できる人財並びにそれぞれに精通した人財を育成いたします。
- ⑦ バランスシート重視の経営を実施してまいります。
グループの財務効率を考慮した事業運営を実施いたします。

<事業別方針>

(1) 臨床検査事業及び周辺事業

「新たなる価値の創造」

【臨床検査事業】

顧客満足向上に向けた体制を整備・充実させるとともに、検査原価の削減、M&Aの推進により、競争力を強化してまいります。

また、ストレス、アンチエイジング検査の普及に取り組むとともに、臨床検査事業会社の整理統廃合によるサービスの均一化を図ってまいります。

【遺伝子・治験ビジネス】

BRCA 遺伝子検査を中心とするヒト遺伝子検査の普及・拡販に取り組むとともに収益性を追求し、早期事業化を目指してまいります。

【IT ビジネス】

病院向けシステム、診療所向け電子カルテの販売力と新システムの開発力を強化し、早期事業化を目指してまいります。

【環境食品ビジネス】

営業力強化によりビジネス規模の拡大を追求し、早期事業化を目指してまいります。

(2) 調剤薬局事業

「点から面への展開ードラッグ事業と調剤薬局事業の融合による新しいスタイルの薬局を展開ー」

- ① セルフメディケーションを意識した店舗展開、既存店舗におけるヘルスケア商品の積極販売、店舗網を利用した在宅ビジネス等、新しいスタイルの店舗展開を図ってまいります。
- ② ドミナント戦略、IT化推進、M&Aの推進により競争力を強化してまいります。
- ③ 独立支援型フランチャイズ店の拡大、企業ブランドの向上による薬剤師採用力の強化により、事業の活性化を図ってまいります。

(3) ドラッグ事業

「総合ヘルスカンパニーー地域でベストなドラッグストアを目指してー」

- ① 調剤併設ドラッグストアの出店を強化するとともに、地域での「myドラッグ化」を推進してまいります。
- ② ヘルスケア（介護・生活保護）、管理栄養士（食育）、ビューティーケア（美容）の専門職によるカウンセリング強化、第一類医薬品の販売強化により、競争力強化を図ってまいります。
- ③ 新規出店と現有店のスクラップ&ビルドの推進、マーケティングと営業力のローカライゼーション（地域市場対応力）により、事業の活性化を図ってまいります。

(4) 事業別業績目標

・売上高

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
臨床検査事業及び周辺事業	27,000	28,000	29,000
調剤薬局事業	15,750	17,000	19,000
ドラッグ事業	17,250	18,000	18,700
その他	—	2,000	3,300
連結	60,000	65,000	70,000

・営業利益

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
臨床検査事業及び周辺事業	1,150	1,400	1,500
調剤薬局事業	810	900	1,000
ドラッグ事業	40	200	450
その他	—	0	50
連結	2,000	2,500	3,000

以上